

# 55 練馬の魅力づくりと練馬ならではの観光の推進

## (1) 「練馬ならではの魅力」の発信

### ●広報キャンペーンの実施

令和元年11月に開催した世界都市農業サミットを契機に、30年度からの3ヶ年で広報キャンペーンを展開した。

令和2年度は、都心に近い場所で自然や農と触れ合える練馬ならではの魅力を区内外へ広げるため、“練馬ぐらし”を実践している方へのインタビューを行った。また、練馬産の食材を使っている飲食店の美味しい料理ができる過程を逆再生でたどる動画を制作し、12月に専用ウェブサイトで公開した。

さらに、インタビュー内容等の概要を掲載した小冊子を作成し、区立施設や区内イベントで配布した。



〔「TOKYO とれたて♡シティ 練馬」のロゴマーク〕



〔ウェブサイト「TOKYO とれたて♡シティ 練馬」〕

## (2) 「練馬ならではの観光」の推進

住宅都市として発展してきた練馬区は、観光都市のような経済効果のある観光資源はあまり多くない。

しかし、日常の中にきらりと光る特色ある資源や、これまで育まれてきた伝統や文化がある。これらを磨き価値を高め、特色ある区の魅力として広く発信していく必要がある。

### ●練馬の魅力を体感できる仕組みづくり

#### 1 観光案内板の設置

区内の鉄道20駅に1基ずつ観光案内板を設置している。区内の観光スポット、名所、区立施設などを紹介することで、区民や来訪者に練馬区の魅力を発信している。観光案内板には、地図情報のほか、練馬区ゆかりのアニメを活用し、「アニメのまち練馬区」を体感してもらう。

令和2年度は、練馬駅・小竹向原駅の2駅の観光案内板の盤面更新を行った。

※観光案内板の設置駅：

練馬区内にある西武池袋線、西武新宿線、西武豊島線、西武有楽町線、都営大江戸線、東京メトロ有楽町線・副都心線、東武東上線の各駅

#### 2 観光情報の発信

練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」を活用し、区の魅力に関する情報を区内外に発信している。

- (1) 練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」によるPR事業
- (2) PR冊子「アニメ・イチバンのまち 練馬区」（日本語版〔再改訂版〕）の配布

#### 3 ねりま観光センターの運営

区は、（一社）練馬区産業振興公社のねりま観光センターと連携し、事業費等の補助を行い、観光振興事業を展開している。ねりま観光センターが令和2年度に実施した主な事業は、「ねりコレ2020」の発表、体験型の観光ツアー、観光ガイドの作成・配布、区の魅力あるスポットをVR体験できる「ねり丸ランド」の公開、およびねり丸グッズの制作・販売などである。また、区内2か所に区が設置した観光案内所の運営を行っており、観光スポットやイベントなどの情報発信のほか、「ねりコレ」等区内名産品の販売を行っている。

### (3) 練馬の魅力を感じるイベントづくり

区民や区外からの来場者が参加・交流し、練馬の魅力を実感できる機会を創るため、区の2大まつりである練馬まつり・照姫まつりを開催している。

#### ●第43回練馬まつり

出展やステージイベントなど、多様なイベントを開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

#### ●第33回照姫まつり

華やかな時代衣装を身にまとった照姫を中心に、勇ましい鎧姿の武者などで構成された約100人が照姫行列を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

#### ●アニメプロジェクト in 大泉

ジャパンアニメーション発祥の地である大泉で毎年開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

### (4) 風を感じるまちづくり

#### ●散策しやすいまちづくり

区では、都市計画道路や生活幹線道路などの新設に当たり、バリアフリー化を図っている。併せて、地域の景観に配慮した緑化、無電柱化、街路灯などの施設整備による道路の質の向上を図り、安全・安心で散策しやすいまちづくりを進めている。

自転車は、区内に散在する地域資源を巡るうえで適した交通手段である。このため、都市計画道路の整備に際しては、自転車レーン等の設置を進めている。

#### ●シェアサイクル事業の社会実験

シェアサイクルは、複数のサイクルポートを設置し、どのポートでも自転車の貸出・返却ができるシステムである。

区では、29年10月から区内での利用動向、事業の費用対効果、事業の継続性を検証するための社会実験を実施している。